

-Index-

夏季研修会 紙上報告①（養護教諭セミナー）
大学入学共通テスト配慮事項
令和3年度 学校見学会のご案内



紙上報告①

夏季休業中 研修会報告

本校主催の研修会に、今年度もたくさんの先生方にご参加いただきました。アンケートの内容（一部抜粋）とともに、紙上報告します。

第20回 養護教諭セミナー（聴覚に関する知識と実践）

令和3年8月3日（水） 参加者14名

【講座1】聴覚支援学校における感染症対策の工夫

講座1では、きこえない・きこえにくい子どもたちの、コロナ禍における困り感や、本校での工夫についてお話ししました。マスク着用などの感染症対策を講じながらも、きこえにくい子どもたちの学習やコミュニケーションを補償し、安心して学校生活を過ごせるように、私たちができることを考えました。

- ・マスクをしなければならないので、目で話すことがとても大切であると改めて思いました。発言者の顔が見えるように机の配置等の様々な工夫があってとても勉強になりました。
- ・実際にどのように対策と指導を両方やっておられるのかがわかって、とてもありがたかった。
- ・口元がきこえや話の理解に影響しているということを、とても実感しました。



- ・新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、マスクを常につけている状況にいる子ども達もなれてきたのですが、確かに、言葉が不明瞭な子どもや食べるのが難しい子どもが増えてきていることをとても感じています。マスクの使用の方法等、細かく教えていただきありがとうございます。
- ・マスク使用によるコミュニケーションの弊害は、聴覚に障がいのある方だけではないなあと感じる講義でした。改めて、目の表情や身ぶり、ジェスチャーも含めて生徒対応していこうと思った。
- ・マスクによる弊害はやはり大きいのだと感じました。本校でも給食や歯みがきの介助時にフェイスシールドを使用していますが、「くもってしまう」ことが悩みでした。「くもり止めを使う」というのは考えたこともなかったので驚きました。
- ・知りたかったことを知ることができました。あらためてコロナの状況下での、きこえない子どもたちの気持ちを推し量るべきだと思いました。

【講座2】保健室で役立つ手話体験

講座2では、養護教諭の視点から、聴覚に障がいのある子どもたちの心に寄り添うために、大切にしていることをお話ししました。また、保健室で役立つ手話をピックアップして紹介し、さまざまな手話表現を練習しました。



- ・「聞こえなかったら言いなさい」の話が本当に印象的でした。「大丈夫？」と聞かず、2択で選択させる、もしくは復唱させて確認するという方法をこれからは実践していきたいと思います。
- ・ユキの手話が印象に残った。地域（本校も）の学校で難聴の児童を受け入れることになったので、手話を含めて学校全体で共有したいと思った。
- ・保健室で実際によく使う手話をたくさん教えていただけてとても勉強になりました。痛みスケールなどは、場面緘黙の子どもにも活用できて便利でした。
- ・本校にも手話を活用している児童がいます。担任などはかなり手話を覚えていますが、やはり保健室でもという気持ちは以前からありました。保健室に関わることで手話ができるように練習していきたいと思います。
- ・保健室ですぐ使えそうな手話を中心に教えてくださりよかったです。2学期から活用していきたいと思います。

- ・手話がとても楽しかった。本は持っていたがどうしてもやるぞ！という気持ちがなかなか湧いてこなかったのを、これを機に頑張ります。
- ・保健室に特化した手話が学べて貴重でした。手話も使わないと忘れていきそうなので、よい刺激になりました。
- ・実際に手話ができて楽しく学ぶことができました。保健室ならではの手話もあり、もっと学んでみたいと思いました。



【講座3】情報交換会



- ・みなさんいろいろな工夫をしていたので、いつ支援が必要な生徒が入学してきても大丈夫なように準備しておこうと思いました。
- ・各校のさまざまな工夫や配慮を聞くことができ、本校でも活用していきたい内容もありました。
- ・実際の事例について、情報交換をすることができ、有意義な時間でした
- ・寝不足やつかれにより耳鳴りやめまいを訴えるということが、肢体の子どもでもうまく伝えられないということも今まであったのかも知れないなと思いました。子どもの表情や情報共有の中でいろいろな角度から子どもを観察していきたいと思いました。
- ・高等学校におられる先生2名の話はとても参考になりました。情報交換で得られることも多いと思いました。
- ・いろいろお話をお伺いできて、大変勉強になりました。ありがとうございました。

アンケートのご協力、ありがとうございました！次号では、研修会「聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教員研修会」の様子を紹介します。

令和4年度

大学入学共通テスト配慮事項

令和4年度試験の実施期日は、令和4年1月15日（土）、16日（日）の予定です。受験上の配慮を希望する場合には、申請書等を大学入試センターに提出する必要があります。

聴覚に関する配慮事項

対象となる者	全ての科目において配慮する事項	リスニングにおいて配慮する事項(例)
①両耳の平均聴力レベルが60dB以上の者	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳士等の配置及び注意事項等の文書による伝達 ・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 	<ul style="list-style-type: none"> ・両耳の平均聴力レベルが原則として60dB以上の重度難聴者等で、リスニングを受験することが困難な者 →リスニングの免除
②上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器又は人工内耳の装用 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の者 →音声聴取の方法 →試験室：一般受験者と同室

「両耳の平均聴力レベル」とは、右耳・左耳それぞれの平均聴力レベルであることを意味します！

音声聴取の方法についてはICプレーヤー付属のイヤホンを使用する方法に代えて、以下の方法を申請することもできます。その場合は、受験上の配慮申請書「聴覚に関する配慮事項」の「リスニングにおける音声聴取の方法」欄で、希望する音声聴取の方法を選択する必要があります。



音声聴取の方法

- ・イヤホン又はヘッドホンの持参使用（Bluetooth等の無線通信機能は使用できません）
- ・CDプレーヤーのスピーカーからの直接音声を聞く方式（別室）
- ・補聴器を外してイヤホンを使用
- ・補聴器又は人工内耳のコネクターに持参したコードを接続
- ・ヘッドホンの貸与

<出願前に申請する方法>

申請時期 令和3年8月2日(月)～9月24日(金) (消印有効)

受験上の配慮申請書等を大学入試センターに提出するとともに、出願期間内に志願票等の出願書類と受験上の配慮出願前申請済届を提出します。

<出願時に申請する方法>

申請時期 令和3年9月27日(月)～10月7日(木) (消印有効)

志願票等の出願書類とともに、受験上の配慮申請書等を大学入試センターに提出します。

— 配慮事項申請書の記入に際して —

- 補聴器を使用している場合は、補聴器の種類・型式が記入された医師の診断書の提出が必要になります。
- 「リスニングの免除」を希望する場合は、下記の項目についての記入漏れが多いようです。事前によく確認しましょう。

- 「手話通訳士等の配置＋注意事項等の文書による伝達」
- 「注意事項等の文書による伝達」
- 「座席を前列に指定」
- 「補聴器又は人工内耳の装用」

大学入学共通テストに関する記事は、No291(令和元年10月8日発行)にも掲載されています。本校ホームページより閲覧可能となっておりますので、ぜひお読みください。

(参考) 独立学校法人大学入試センター <https://www.dnc.ac.jp/center/>

令和3年度 学校見学会のご案内

本校では、令和3年9～10月に、令和4年度新就学にかかる学校見学会を実施いたします。この見学会は、主として令和4年4月に本校の小学部・中学部・高等部本科・高等部専攻科に入学を検討している幼児児童生徒および保護者、または在籍校園教職員を対象として学校見学会を行い、就学希望者や教育支援担当者等が適切かつ円滑な就学を進めることができるよう、情報提供を行うものです。就学に関するご相談については、随時お受けしておりますので、ご希望があれば本校教頭までご相談ください。

<実施日>

小学部	10月13日(水) 10:00～11:30 (※公開授業・説明会と兼ねています)
中学部	10月20日(水) 10:00～11:00 (※小学6年生授業体験会と兼ねています)
高等部	9月28日(水) 11:00～12:00

<内容> ・校内見学および全校、学部概要説明 ・教育相談日程調整

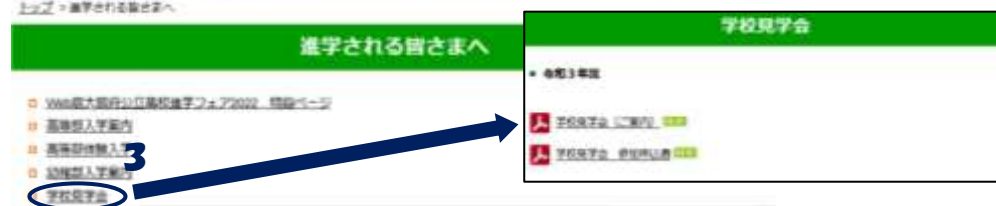
- ※ 所属の学校園で、別紙の申し込み用紙(ホームページ掲載)に必要な事項を記入のうえ、希望日時1週間前までにFAXにてお送りください。
- ※ 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引率の保護者・教員とも1名ずつまでとさせていただきます。詳細については、本校ホームページにてご確認ください。
- ※ 状況によって、急に中止または延期となる場合もあります。直前に本校ホームページにてご確認のうえ、ご来校ください。

【問い合わせ】大阪府立中央聴覚支援学校

TEL 06-6761-1419 (代表) FAX 06-6762-1800

担当 教頭(田口・古川) 首席(堀谷)

[トップページ](#) ▶ [進学される皆さまへ](#) ▶ [学校見学会](#) ▶ [学校見学会\(ご案内\)](#)



「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森

〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31

TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800